



真保家の田んぼ



種粳が入荷しました

二十四節気 **大寒** だいかん

寒さが最も厳しくなる頃

酒を仕込むには最適な時期とされています

大寒です。

1年の中で**最も寒い頃**と言われますが、**新潟は比較的暖かい日**が続いています。時折、**強い寒波の影響**での**積雪**や**路面の凍結**はあるものの、当初からの**予想の暖冬小雪傾向**の冬となっています。

新潟の**インバウンド事業**の1つである、**スキー場**には降ってもらわないと困りますが、**平野部**はこのような天候のまま春を迎えてほしいなと願っています。

◎◎ 今年の米の作柄は？ ◎◎

少しずつ**春が近づいて**きています。

3月下旬になれば、農家の皆さんも**6年産の米作り**がスタートします。

米作りのスタートは、**種粳(たねもみ)**の**消毒・浸種**から始まります。

ごく一部ではありますが、当社に**6年産に使用する種粳**が入庫しました。

農家の皆さんも今年はどうなるのだろうという**不安**の中でのスタートになるかと思えます。



コシヒカリの種粳です

農業ニュースをチェックしていると、**岩手県平泉町の毛越寺(もうつうじ)**で、今年の農作物の**作柄を占う**、伝統の「**作様(さくだめし)**」が行われたとありました。作様は、毛越寺にある農作物の神をまつる建物「**常行堂(じょうぎょうどう)**」で、毎年1月15日に行われる伝統行事とのことです。10人の僧侶が集まり、**五穀豊穡**を願い、読経を1時間近く行った後、**藤里明久貫主**が**稲や麦**など、農作物の今年の作柄を占いました。占いは、くじが入った高さ20cmほどの木の箱を振って行われ、入っているくじは「一分」から「十分」までの数字が書かれた10本で、引き当てたくじの数字が大きいほど実りが豊かとされています。結果、**稲は「わせ」が「四分」**でしたが、「なかくて」と「おくて」は「八分」で、今年**は豊作**という予想になりました。5年産、猛暑の影響を受けた**コシヒカリ**は、「なかくて」に当たるので**豊作の予想**。



作様の様子

あくまで伝統行事の予想に過ぎませんが、意外と結果を気にする農家さんはいます。農家の皆さんにとっては、少しでも6年産の米作りに関して、明るい話題が出るのは嬉しいことですね。

この大寒の日に、5歳になる長男は、習い事として**サッカー**を始めました。**アルビレックスのサッカースクール**が、自宅近くで開催されていることもあり、先週の土曜日から通い始めました。私としては、**ラグビー**始めてくれるといいなと思っていたので少し残念ではあります。とはいえ、チームスポーツは**協調性**も身につけ、友達もたくさんできるので、**頑張**って続けてくれることを願い、**応援**したいと思います。



来月末で、**1歳**になる次男は、つかまり立ち、つたい歩きの**オンパレード**で、転んで怪我しないように、目が離せない毎日です。食事は**ミルク**も卒業し、今は**離乳食**だけの生活になりました。食べるのが大好きで、**毎食ペロツ**と完食します。子供達の成長の早さに驚く毎日です。